

歯科材料 5 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科用象牙質接着材（JMDNコード 42483002）

ユーボンド F

【禁忌・禁止】

本材またはメタクリル酸系のモノマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症状の既往歴のある患者には、使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

構成成分	形状	成分
ボンド	液体	エタノール、精製水、HEMA、Bis-GMA、リン酸エステル系接着モノマー、光重合触媒、シリカ系フィラー、その他

原理：本材は、光重合型の歯科用象牙質接着材であり、主にコンポジット充填材、修復物などの歯質接着を促進するために用いる。

【使用目的又は効果】

象牙質を含む窩洞・欠損への接着に用いる。

【品目仕様等】

項目	仕様
牛歯エナメル質に対する接着	10.0MPa 以上
牛歯象牙質に対する接着	10.0MPa 以上
操作時間（条件：23±2℃、遮光）	7分以内
光硬化深度	1.0mm 以上

【使用方法等】

- ①窩洞形成
感染象牙質の除去後、通法に従い窩洞形成、窩洞清掃、消毒を行います。
- ②防湿、歯髄保護
窩洞形成後、通法に従い防湿処置を行います。残存象牙質が薄い場合は、水酸化カルシウム製剤等で覆髄を行います。
- ③ボンディング
本品を混和皿に適量採取し、ピンセットに挟んだスポンジまたは綿球などで窩洞の壁面全体に塗布します。20秒間放置後本品を飛散させないようにバキュームで吸引しながら、強めのエアで被着面全体を5秒以上十分に乾燥させます。本品は揮発成分としてエタノール及び水を含有しているため、乾燥が不十分だと接着強さが低下します。
- ④光重合
歯科重合用光照射器を用いて10秒間光照射します。
- ⑤コンポジットレジン充填
コンポジットレジンを窩洞に充填、硬化させ、硬化後通法に従い仕上げ・研磨を行います。

【使用上の注意】

- ①本品を混和皿へ採取したあとは周囲からの光を遮断し、5分以内に使用すること。
- ②処理面が汚染された場合は、その部位を水洗、乾燥、またはアルコール清掃を行った上で、再度処理を行うこと。唾液、手指等で汚染されると、接着強さが低下する可能性がある。
- ③本材は冷蔵庫から取り出したあと必ず室温に戻してから使用すること。室温に戻る前に使用すると、採取時必要以上に液が排出されたり使用後に溢れ出すことがある。

【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

- ①本材は冷蔵（2～12℃）で保管し、光を避けること。
- ②揮発成分の蒸散を避けるため、使用後は速やかにキャップを閉めること。
- ③歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

〔有効期間〕

本材は包装に記載の※有効期間までに使用すること。
*〔記載の有効期間は、自己認証（当社データ）による〕
記載の有効期間は、適正な保管方法を遵守した場合の未開封時における期限を示す。
開封後は添付文書に記載されている保管方法を遵守した上、できるだけお早めにご使用ください。

【取扱上の注意】

- ①充填に際し、窩洞形成時に、露髄または歯髄に近接した場合には覆罩等の処置を行うこと。
- ②歯髄保護及び仮封にはエージノール系の材料は、使用しないこと。
- ③窩洞清掃が不十分な場合、接着材の接着強さが低下する恐れがあるので、十分清掃すること。
- ④本材と他の歯科コンポジットレジン用接着材とを混ぜて使用しないこと。
- ⑤本材は可燃性であるため、必ず火気を避けて使用すること。また、火気の近くや高温となる場所（ストーブの側、直射日光の当たる場所など）に放置しないこと。
- ⑥本材を使用する際には、モノマー蒸気を吸い込まないように適切な換気がなされている場所で使用すること。
- ⑦本材と他の製品を混用すると、所定の性能が発揮されなくなる恐れがあるため、行わないこと。
- ⑧本材使用に際し、必要に応じてラバーダムなどの防湿処置を行うこと。
- ⑨本材を誤飲させないように注意すること。
- ⑩本材は、歯科医療有資格者以外には使用しないこと。

【包装】

- ・ボンド（5ml） 1本

【製造販売業者及び製造業者の氏名または名称等】

製造販売業者 株式会社ユーデント
及び製造業者